

令和5年度 病院事業会計決算概要について

1. 令和5年度決算の概要

令和5年度は、入院・外来の患者数は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復していないが、単価の上昇等により医業収益は増加した。しかし、新型コロナウイルス感染症病床確保事業費補助金収入が大幅に減少したため、病院事業庁全体では令和2年度以来の赤字決算（純損失 780百万円）となった。

(1)患者数（病院事業庁全体）

	令和5年度		令和4年度		患者数増減	
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	人数	増 減
入 院	186,527人	509.6人	178,541人	489.2人	+ 7,986人	104.5%
外 来	270,670人	1,113.9人	267,389人	1,100.4人	+ 3,281人	101.2%

(2)決算の状況（病院事業庁全体）

(税抜 単位:百万円)

収 益 的 収 支	令和5年度	令和4年度	増 減
病 院 事 業 収 益	25,196	26,463	△ 1,267
医 業 収 益	20,096	18,605	1,491
医 業 外 収 益	4,886	7,649	△ 2,763
附 帯 事 業 収 益	214	209	5
病 院 事 業 費 用	25,976	24,769	1,207
医 業 費 用	24,490	23,210	1,280
医 業 外 費 用	1,280	1,356	△ 76
附 帯 事 業 費 用	206	203	3
当 年 度 純 損 益	△ 780	1,694	△ 2,474
一 般 会 計 繰 入 金	4,867	4,757	110

①医業収益は、前年度に比べて 1,491百万円増加

入院・外来患者数の増加、単価の上昇等により診療収益は1,475百万円増加。

総合 入院単価(R4)74,201円→(R5)76,653円、外来単価(R4)23,094円→(R5)25,394円
小児 (R4)69,057円→(R5)74,623円、 (R4)17,411円→(R5)17,824円
精神 (R4)30,028円→(R5)27,999円、 (R4) 8,506円→(R5) 8,683円

②医業外収益は、前年度に比べて 2,763百万円減少

新型コロナウイルス感染症の5類移行、制度変更により病床確保事業費補助金が2,790百万円減少(3,310百万円→520百万円)。

③医業費用は、前年度に比べて1,280百万円増加

人事委員会勧告を踏まえた給与改定に伴う給与費の増加(+271百万円)、がん化学療法の増加による薬品費の増加(+599百万円)、手術の増加による診療材料費の増加(+163百万円)、物価高騰による委託費の増加(+204百万円)。

(3)各病院の状況

(税抜 単位:百万円)

	総合病院		小児保健医療センター		精神医療センター		経営管理課	
		対前年度		対前年度		対前年度		対前年度
入院患者数(人)	138,575	5,687	17,256	1,492	30,696	807	—	—
病床稼働率(%)	70.8	2.7	47.1	3.9	68.2	1.6	—	—
外来患者数(人)	202,281	1,235	44,994	1,984	23,395	62	—	—
事業収益	19,574	△ 752	3,550	△ 485	1,956	△ 32	222	1
医業収益	16,557	1,270	2,232	254	1,194	△ 34	216	0
うち入院収益	10,622	762	1,288	199	859	△ 39	—	—
うち外来収益	5,137	494	802	53	203	5	—	—
医業外収益	3,017	△ 2,022	1,104	△ 744	762	2	3	1
附帯事業収益	—	—	214	5	—	—	3	0
うち一般会計負担金	2,824	50	1,192	29	738	29	113	2
事業費用	20,304	1,005	3,462	150	2,094	50	222	1
医業費用	19,206	1,087	3,125	143	2,045	48	217	0
給与費	9,122	212	1,668	32	1,426	27	202	0
材料費	5,414	699	548	69	101	4	—	—
うち薬品費	3,368	553	321	41	94	5	—	—
うち診療材料費	2,028	137	216	26	7	0	—	—
経費	3,050	194	696	36	337	8	15	2
光熱水費・燃料費	487	△ 15	66	△ 7	45	△ 12	1	0
修繕費	241	△ 34	70	31	20	4	1	1
賃借料	150	9	174	5	16	0	1	0
委託費	1,538	171	264	12	214	20	4	1
その他	634	63	122	△ 5	42	△ 4	8	0
減価償却費等	1,471	△ 19	176	1	154	7	0	0
研究研修費	90	3	15	4	5	2	0	△ 1
医業外費用	1,098	△ 82	131	4	49	2	2	0
うち支払利息	184	△ 13	2	0	1	0	0	0
附帯事業費用	—	—	206	3	—	—	3	0
当年度純損益	△ 730	△ 1,757	88	△ 635	△ 138	△ 82	0	0
当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	△ 16,605	△ 730	668	88	△ 540	△ 138	—	—

※減価償却費には資産減耗費を含む。

※(2)の収益的収支全体の金額は、病院と経営管理課間の資金移動を重複控除しているため(3)を合計した額とは一致しない。

①総合病院

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も引き続きコロナ患者を積極的に受け入れるとともに、通常の診療体制への移行を進めたことなどにより、入院および外来ともに患者数が増加し、診療収益も増加した。一方で、新型コロナウイルス病床確保事業費補助金が大幅に減額したほか、患者数の増加に伴い材料費が増加した。

②高度・専門医療の提供

- ・がんゲノム医療連携病院として、がん遺伝子パネル検査(46件)や遺伝カウンセリング(155件)など最新の医療を提供した。
- ・手術用ロボット(ダヴィンチ)により、患者の身体的負担が少ない手術を実施した。

ダヴィンチ手術件数 (R4) 110件 → (R5) 156件

- ・令和6年1月に新放射線治療棟が竣工し、新たな治療装置の設置、試験運転を開始した。
- ・半導体PET-CT装置(R4導入)により、患者への負担を軽減しつつ、より高精度な検査を安定的に実施した。

PET検査件数 (R4) 870件 → (R5) 1,040件

④救急医療体制の充実

湖南圏域の二次救急輪番に参画する病院として、救急専門医師を1名増員し、看護師やメディカルスタッフとも連携して、救急車の受け入れ拡大に取り組んだ。また、小児救急受け入れ体制の整備を進めた。 救急搬送件数 (R4) 3,241件 → (R5) 3,726件

⑤診療内容の充実

- ・ 令和5年10月から腫瘍内科を新設し、体制強化により外来化学療法の件数拡大に努めるなど、より専門性を高めて診療内容の充実を図った。
- ・ 医師の確保に取り組んだ。 医師数 (R5.4.1) 109人 → (R6.4.1) 124人
- ・ 救急患者や紹介患者の積極的な受け入れに取り組み、手術件数の増加を図った。
手術件数 (R4) 8,237件 → (R5) 8,699件
- ・ 令和5年3月からコロナ後遺症外来を開設し、診療所等からの紹介を受けて、症状に応じた専門的な検査や診療を行った。 患者数 (R5) 83名

⑥地域医療連携の推進

- ・ 市立野洲病院、済生会守山市民病院との病病連携を強化するとともに、日野記念病院と新たな協定を締結した(令和6年1月)。患者の紹介・逆紹介や総合病院から協定締結病院への医師の派遣などを行った。
- ・ 地域連携登録医への訪問を強化するとともに、医師会との関係を強化し、紹介・逆紹介率の向上を図った。同時に、紹介患者のCT、MR検査枠を拡大することで、依頼件数の増加に繋がった。
紹介率 (R4) 79.1% → (R5) 83.8%
逆紹介率 (R4) 76.4% → (R5) 88.5%

⑦病院の広報PRの強化

- ・ 医療の魅力発信や人材確保のため、広報誌(FACE)を発行するとともに、地域の住民が参加できる『オープン ホスピタル』を4年ぶりに開催した(1,224名参加)。
- ・ 総合病院により親しんでもらえるようマスコットキャラクターを11月に決定した。



『新マスコットキャラクター「びわずん」』

②小児保健医療センター

令和5年度は、入院患者の受け入れを増やすなど通常の診療体制への移行が進んだ結果、新型コロナウイルス病床確保事業費補助金は大幅に減額したものの、入院収益、外来収益はともに増加した。

⑦医療機能の向上

- ・ 侵襲が大きな手術を行った場合の術後管理や集中的な治療が必要な患者に対応するため、HCU(ハイケアユニット)を令和5年11月から開設し、医療の質の向上を図った。

入院延べ患者数 (R5.11~R6.3) 850人

⑧専門外来の充実

- ・ アレルギー科、内分泌・代謝科、糖尿病外来の医師を増員し、診療枠を拡充した結果、患者数が増加した。

外来延べ患者数 アレルギー科 (R4) 2,222名 → (R5) 2,364名
内分泌・代謝科・糖尿病 (R4) 2,248名 → (R5) 3,022名

③精神医療センター

令和5年度は、新型コロナ専用病床を一般病床に戻すなど患者受入体制の復旧を進めたことで、病床稼働率は前年度に比べ上昇した。一方、入院単価の高い医療観察法病棟の病床稼働率が前年度から下がり、また、給与改定による給与費の増加や物価高騰等の影響による委託費の増加等により医業費用が増加した。

㊦依存症治療等専門医療の推進

- ・ アルコール・薬物、ギャンブル等の依存症に対し、依存症専門医療機関として専門診療や認知行動療法に基づく外来集団精神療法プログラム等を実施した。

ARP入院患者数 (R4) 45人 → (R5) 48人 (ARP…アルコール依存症の入院治療プログラム)

SMARPP参加延べ人数 (R4) 195人 → (R5) 319人 (SMARPP…アルコール・薬物依存症の外来集団治療プログラム)

STEP-G参加延べ人数 (R4) 118人 → (R5) 198人 (STEP-G…ギャンブル依存症の外来集団治療プログラム)

- ・ 依存症治療拠点機関として、依存症治療拠点機関研修等事業に基づく研修事業や普及啓発事業を実施し、外部機関主催の技術協力に対応することで、依存症対応に関する推進を図った。
- ・ 依存症治療に関する普及・啓発と共に、県内保健・医療・福祉・司法分野の関係機関との連携強化を図るため、令和5年度 第29回 関西アルコール関連問題学会滋賀大会を開催した。

参加者266名

㊧思春期精神障害医療の推進

- ・ 中・高生を対象に、思春期精神障害に対してこころの専門外来や入院診療を行い、発達障害や摂食障害等の患者への治療を引き続き行った。
- ・ 緊急度に合わせた柔軟な受け入れ態勢を構築するため、初診予約の体制を電話予約制から事前問診制に変更した。
- ・ 医療につながった患者が地域で安定した生活を維持できるよう、学校や相談機関との連携に積極的に努め、患者の受け入れや治療に繋げた。

こころの専門外来延べ患者数 (R4) 1,549人 → (R5) 1,688人

児童・思春期精神障害に係る延べ入院患者数 (R4) 23人 → (R5) 38人

思春期外来の学校・相談関係との連携割合 (R4) 43.0% → (R5) 62.2%

㊨医師の確保

- ・ 医師確保に向け、引き続き、滋賀医大等との連携強化、研修連携施設としての登録や人的ネットワークを駆使した働きかけ等を行った。
- ・ 受け入れた研修医に精神医療センターへ定着してもらうことで医師を確保することを目標に、令和5年10月に「精神科専門医研修施設群基幹施設」の認定を受けたことから、研修医の積極的な確保を図っていく。

(4)資本的収支の状況

① 病院全体

(税込 単位:百万円)

資本的収支	令和5年度	令和4年度	増減
資本的収入	2,878	1,335	1,543
企業債	2,848	1,276	1,572
補助金	0	22	△ 22
負担金	30	29	1
諸収入	0	8	△ 8
資本的支出	5,119	3,481	1,638
建設改良費	2,965	1,430	1,535
企業債償還金	2,154	2,051	103
当年度収支差	△ 2,241	△ 2,146	△ 95

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2,241百万円は、過年度損益勘定留保資金1,248百万円、当年度損益勘定留保資金946百万円、退職給付引当金に係る特定資金41百万円ならびに消費税および地方消費税資本的収支調整額6百万円で補填

【参考】資金残高

(税抜 単位:百万円)

	令和5年度	令和4年度	増減
資金残高	4,690	5,658	△ 968
損益勘定留保資金	0	1,248	△ 1,248
退職給付引当金に係る特定資金	4,690	4,410	280

② 総合病院

(税込 単位:百万円)

資本的収支	令和5年度	令和4年度	増減
資本的収入	2,515	1,264	1,251
企業債	2,490	1,232	1,258
補助金	0	7	△ 7
負担金	25	24	1
諸収入	0	1	△ 1
資本的支出	4,589	3,229	1,360
建設改良費	2,596	1,356	1,240
企業債償還金	1,993	1,873	120
当年度収支差	△ 2,074	△ 1,965	△ 109

○主な建設改良事業

放射線治療棟再整備工事、病棟他空調設備改修工事、放射線治療装置 等

③ 小児保健医療センター

(税込 単位:百万円)

資 本 的 収 支			令和5年度	令和4年度	増 減
資 本 的 収 入			41	69	△ 28
	企 業 債		37	43	△ 6
	補 助 金		0	15	△ 15
	負 担 金		4	4	0
	諸 収 入		0	7	△ 7
資 本 的 支 出			173	208	△ 35
	建 設 改 良 費		46	71	△ 25
	企 業 債 償 還 金		127	137	△ 10
当 年 度 収 支 差			△ 132	△ 139	7

○主な建設改良事業

ベッドサイドモニタ、ウロダイナミクス検査装置、多項目自動血球分析装置 等

④ 精神医療センター

(税込 単位:百万円)

資 本 的 収 支			令和5年度	令和4年度	増 減
資 本 的 収 入			322	2	320
	企 業 債		321	1	320
	補 助 金		0	0	0
	負 担 金		1	1	0
	諸 収 入		0	0	0
資 本 的 支 出			357	44	313
	建 設 改 良 費		323	3	320
	企 業 債 償 還 金		34	41	△ 7
当 年 度 収 支 差			△ 35	△ 42	7

○主な建設改良事業

病院総合情報システム、監視カメラ、医療用ベッド 等

(5)比較貸借対照表

① 病院全体

(税抜 単位:百万円)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減	科 目	令和5年度	令和4年度	増 減
固 定 資 産	31,440	30,447	993	固 定 負 債	25,729	24,804	925
有形固定資産	30,296	29,445	851	企業債	20,998	20,355	643
土 地	6,181	6,181	0	リース債務	0	39	△ 39
建 物	44,869	43,677	1192	退職給付引当金	4,731	4,410	321
減価償却累計額	△ 27,060	△ 26,110	△ 950	流 動 負 債	6,229	5,864	365
構 築 物	1,328	1,328	0	企 業 債	2,205	2,154	51
減価償却累計額	△ 979	△ 957	△ 22	リ ー ス 債 務	39	52	△ 13
車 両 運 搬 具	11	9	2	未 払 金	3,161	2,801	360
減価償却累計額	△ 8	△ 8	0	前 受 金	0	1	△ 1
工具器具・備品	12,983	11,753	1,230	賞与引当金	610	575	35
減価償却累計額	△ 9,200	△ 8,771	△ 429	法定福利費引当金	120	112	8
リース資産	236	236	0	預 り 金	94	169	△ 75
減価償却累計額	△ 141	△ 106	△ 35	病院間貸借	0	0	0
建 設 仮 勘 定	2,076	2,213	△ 137	繰 延 収 益	2,060	2,219	△ 159
無形固定資産	3	4	△ 1	長期前受金	4,904	4,908	△ 4
投 資	1,141	998	143	収益化累計額	△ 2,844	△ 2,700	△ 144
出資金	5	5	0	建設仮勘定長期前受金	0	11	△ 11
長期前払消費税	1,136	993	143	負 債 合 計	34,018	32,887	1,131
流 動 資 産	8,674	9,316	△ 642	資本金(固有資本金)	16,415	16,415	0
現 金 預 金	4,925	5,264	△ 339	剰 余 金	△ 10,319	△ 9,539	△ 780
未 収 金	3,650	3,908	△ 258	資 本 剰 余 金	6,158	6,158	0
貸 倒 引 当 金	△ 30	△ 28	△ 2	受贈財産評価額	6,114	6,114	0
貯 蔵 品	129	116	13	寄 附 金	44	44	0
前 払 金	0	56	△ 56	当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	△ 16,477	△ 15,697	△ 780
その他流動資産	0	0	0	資 本 合 計	6,096	6,876	△ 780
病院間貸借	0	0	0	負 債 資 本 合 計	40,114	39,763	351
資 産 合 計	40,114	39,763	351				

※①病院全体の額は、病院と経営管理課間の資金移動を重複控除しているため、各病院と経営管理課の合計額とは一致しない。

② 総合病院

(税抜 単位:百万円)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減	科 目	令和5年度	令和4年度	増 減
固 定 資 産	24,880	23,908	972	固 定 負 債	23,631	23,054	577
有形固定資産	23,832	22,985	847	企業債	20,385	19,952	433
土 地	2,976	2,976	0	リース債務	0	39	△ 39
建 物	36,304	35,091	1,213	退職給付引当金	3,246	3,063	183
減価償却累計額	△ 20,694	△ 19,893	△ 801	流 動 負 債	5,929	4,974	955
構 築 物	763	763	0	企 業 債	2,058	1,993	65
減価償却累計額	△ 533	△ 520	△ 13	リ ー ス 債 務	39	52	△ 13
車 両 運 搬 具	8	6	2	未 払 金	2,795	2,293	502
減価償却累計額	△ 5	△ 5	0	前 受 金	0	1	△ 1
工具器具・備品	10,465	9,465	1000	賞与引当金	431	408	23
減価償却累計額	△ 7,356	△ 6,977	△ 379	法定福利費引当金	85	79	6
リース資産	236	236	0	預 り 金	71	148	△ 77
減価償却累計額	△ 141	△ 106	△ 35	病院間貸借	450	0	450
建 設 仮 勘 定	1,809	1,949	△ 140	繰 延 収 益	1,118	1,198	△ 80
無形固定資産	2	2	0	長期前受金	2,973	2,970	3
投 資	1,046	921	125	収益化累計額	△ 1,855	△ 1,783	△ 72
出資金	3	3	0	建設仮勘定長期前受金	0	11	△ 11
長期前払消費税	1,043	918	125	負 債 合 計	30,678	29,226	1,452
流 動 資 産	3,558	3,808	△ 250	資本金(固有資本金)	11,415	11,415	0
現 金 預 金	442	445	△ 3	剰 余 金	△ 13,655	△ 12,925	△ 730
未 収 金	3,032	3,242	△ 210	資 本 剰 余 金	2,950	2,950	0
貸 倒 引 当 金	△ 28	△ 25	△ 3	受贈財産評価額	2,906	2,906	0
貯 蔵 品	112	90	22	寄 附 金	44	44	0
前 払 金	0	56	△ 56	当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	△ 16,605	△ 15,875	△ 730
その他流動資産	0	0	0	資 本 合 計	△ 2,240	△ 1,510	△ 730
病院間貸借	0	0	0	負 債 資 本 合 計	28,438	27,716	722
資 産 合 計	28,438	27,716	722				

③ 小児保健医療センター

(税抜 単位:百万円)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減	科 目	令和5年度	令和4年度	増 減
固 定 資 産	1,841	1,984	△143	固 定 負 債	1,059	1,038	21
有形固定資産	1,813	1,949	△136	企業債	281	311	△30
土 地	643	643	0	リース債務	0	0	0
建 物	3,471	3,471	0	退職給付引当金	778	727	51
減価償却累計額	△ 2,892	△ 2,845	△47	流 動 負 債	389	547	△158
構 築 物	108	108	0	企 業 債	65	127	△62
減価償却累計額	△ 98	△ 98	0	リ ー ス 債 務	0	0	0
車 両 運 搬 具	1	1	0	未 払 金	205	310	△105
減価償却累計額	△ 1	△ 1	0	前 受 金	0	0	0
工具器具・備品	1,665	1,669	△4	賞 与 引 当 金	88	82	6
減価償却累計額	△ 1,348	△ 1,263	△85	法定福利費引当金	18	16	2
リース資産	0	0	0	預 り 金	13	12	1
減価償却累計額	0	0	0	病院間貸借	0	0	0
建 設 仮 勘 定	264	264	0	繰 延 収 益	74	83	△9
無形固定資産	1	1	0	長 期 前 受 金	220	215	5
投 資	27	34	△7	収 益 化 累 計 額	△ 146	△ 132	△14
出資金	1	1	0	建設仮勘定長期前受金	0	0	0
長期前払消費税	26	33	△7	負 債 合 計	1,522	1,668	△146
流 動 資 産	3,503	3,418	85	資本金(固有資本金)	2,510	2,510	0
現 金 預 金	2,468	2,656	△188	剰 余 金	1,312	1,224	88
未 収 金	426	445	△19	資 本 剰 余 金	644	644	0
貸 倒 引 当 金	0	△ 1	1	受贈財産評価額	644	644	0
貯 蔵 品	9	18	△9	寄 附 金	0	0	0
前 払 金	0	0	0	当年度未処分利益剰余金	668	580	88
その他流動資産	300	300	0	(△:未処理欠損金)			
病院間貸借	300	0	300	資 本 合 計	3,822	3,734	88
資 産 合 計	5,344	5,402	△58	負 債 資 本 合 計	5,344	5,402	△58

④ 精神医療センター

(税抜 単位:百万円)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減	科 目	令和5年度	令和4年度	増 減
固 定 資 産	3,168	3,004	164	固 定 負 債	981	660	321
有形固定資産	3,100	2,960	140	企業債	332	92	240
土 地	1,011	1,011	0	リース債務	0	0	0
建 物	5,094	5,115	△21	退職給付引当金	649	568	81
減価償却累計額	△ 3,474	△ 3,372	△102	流 動 負 債	342	320	22
構 築 物	457	457	0	企 業 債	82	34	48
減価償却累計額	△ 348	△ 339	△9	リ ー ス 債 務	0	0	0
車 両 運 搬 具	2	2	0	未 払 金	154	188	△34
減価償却累計額	△ 2	△ 2	0	前 受 金	0	0	0
工具器具・備品	853	619	234	賞 与 引 当 金	82	75	7
減価償却累計額	△ 496	△ 531	35	法定福利費引当金	15	15	0
リース資産	0	0	0	預 り 金	9	8	1
減価償却累計額	0	0	0	病院間貸借	0	0	0
建 設 仮 勘 定	3	0	3	繰 延 収 益	868	938	△70
無形固定資産	0	1	△1	長 期 前 受 金	1,711	1,723	△12
投 資	68	43	25	収 益 化 累 計 額	△ 843	△ 785	△58
出資金	1	1	0	建設仮勘定長期前受金	0	0	0
長期前払消費税	67	42	25	負 債 合 計	2,191	1,918	273
流 動 資 産	1,986	2,015	△29	資本金(固有資本金)	2,490	2,490	0
現 金 預 金	1,026	984	42	剰 余 金	473	611	△138
未 収 金	204	225	△21	資 本 剰 余 金	1,013	1,013	0
貸 倒 引 当 金	△ 2	△ 2	0	受贈財産評価額	1,013	1,013	0
貯 蔵 品	8	8	0	寄 附 金	0	0	0
前 払 金	0	0	0	当年度未処分利益剰余金	△ 540	△ 402	△138
その他流動資産	600	800	△200	(△:未処理欠損金)			
病院間貸借	150	0	150	資 本 合 計	2,963	3,101	△138
資 産 合 計	5,154	5,019	135	負 債 資 本 合 計	5,154	5,019	135

⑤ 経営管理課

(税抜 単位:百万円)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減	科 目	令和5年度	令和4年度	増 減
固 定 資 産	1,551	1,551	0	固 定 負 債	58	52	6
有形固定資産	1,551	1,551	0	企業債	0	0	0
土 地	1,551	1,551	0	リース債務	0	0	0
建 物	0	0	0	退職給付引当金	58	52	6
減価償却累計額	0	0	0	流 動 負 債	934	1,130	△196
構 築 物	0	0	0	企 業 債	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0	リ ー ス 債 務	0	0	0
車 両 運 搬 具	0	0	0	未 払 金	7	10	△3
減価償却累計額	0	0	0	前 受 金	0	0	0
工具器具・備品	0	0	0	賞与引当金	9	10	△1
減価償却累計額	0	0	0	法定福利費引当金	2	2	0
リース資産	0	0	0	預 り 金	916	1,108	△192
減価償却累計額	0	0	0	病院間貸借	0	0	0
建 設 仮 勘 定	0	0	0	繰 延 収 益	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
投 資	0	0	0	収益化累計額	0	0	0
出資金	0	0	0	建設仮勘定長期前受金	0	0	0
長期前払消費税	0	0	0	負 債 合 計	992	1,182	△190
流 動 資 産	992	1,182	△190	資本金(固有資本金)	0	0	0
現 金 預 金	989	1,179	△190	剰 余 金	1,551	1,551	0
未 収 金	3	3	0	資 本 剰 余 金	1,551	1,551	0
貸 倒 引 当 金	0	0	0	受贈財産評価額	1,551	1,551	0
貯 蔵 品	0	0	0	寄 附 金	0	0	0
前 払 金	0	0	0	当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	0	0	0
その他流動資産	0	0	0	資 本 合 計	1,551	1,551	0
病院間貸借	0	0	0	負 債 資 本 合 計	2,543	2,733	△190
資 産 合 計	2,543	2,733	△190				